

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善項目、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		1		基準上問題ないが限られたスペースのため有効活用を心掛けている。
	2	職員配置は適切であるか	5	1			基準以上の配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1			建物は平屋でバリアフリー化している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1			職員会等で提案して進めている。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				アンケート調査を年1回実施して、意向等を確認して業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1			法人のホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2			平成29年度に受審。評価結果を業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1			内部研修の実施、外部研修への参加機会を確保(但しコロナ禍で減少)
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				児童発達管理責任者と担当職員が中心となって利用者・家族のニーズに基づいた計画作成を心掛けている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1			標準化したアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1			児童発達管理責任者と担当職員が中心となりチームで行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1			季節に合わせた活動など変化をつけられるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2			状況に応じて工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1			室内活動に限らず、行事なども含めて個別活動と集団活動を実施できるよう計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1			職員それぞれ勤務時間が異なるので、ケース記録・日誌等を利用、個別にも情報共有。朝会を実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1			職員それぞれ勤務時間が異なるので、ケース記録・日誌等を利用、個別にも情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				ケース記録・日誌等に正しく記録を行い、振り返ることができるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				児童発達管理責任者、担当を中心に半年ごとに実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1			個人にあった支援を心掛けている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				児童発達管理責任者・担当が主に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6				必要に応じて関係機関や関係者との情報共有に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5		1		利用契約時に確認を行い、連絡体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	1	1	必要に応じて関係機関や関係者との情報共有に努めているが、就学後年数が経っているご利用者しかいない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6				必要に応じて関係機関や関係者との情報共有に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1		必要に応じて関係機関や関係者との情報共有に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		5		児童クラブや児童館との交流はないが、ボランティアや実習生、近隣の小学校、保育園との交流機会はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5		1		医的ケア児者の支援検討委員会に所属し、参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				年2回のアセスメント時や送迎時、連絡帳を通して共通理解が図れるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2			専門性を生かして様々な悩みや相談に対して支援をしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				できる限り丁寧な説明になるよう心掛けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				専門性を生かして様々な悩みや相談に対して必要な助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1			年に2回保護者会はコロナ感染予防で中止。その他、保護者同士での連携、情報共有をされている。
	33	子どもの保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周知対応しているか	6				苦情解決体制を整備し対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				毎月「つむぎ便り」を発行し、情報発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6				個人情報には十分に注意しマニュアルに沿った対応をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				状況に応じて個別に配慮をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		2		隣接する障がい者支援施設と共同し行事などで地域住民と交流(但し今年度はコロナ対応のため中止)

非常時の対応について	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6				各種マニュアルを整備し周知に努めている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		1		防火管理者を中心に定期的に避難訓練等を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				虐待防止専門員会を設置し、職員会などで定期的に研修を行っている。外部研修にも参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1			専門委員会を設置しているが、基本的に身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		1	現在対象者はいないが、対応できる体制を整えている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				事例集ではないが、報告書に記録し、事業所内で共有している。